



自己調整を促す！ 教職協働による留年防止研修

土屋麻衣子（福岡工業大学）
杉田 郁代（高知大学）

2026. 8. 27

本日のメインコンセプト

学生の

「このままではいけない」を

「これならできそう💡」に変える

SRLと形成的フィードバックを導入した働きかけ



土屋麻衣子 教育学博士

<https://fit.ac.jp/~tutiya/index.html>

【研究分野】

動機づけ(ディモチベーション)

自己調整学習

形成的フィードバック

教育・研究活動

【書籍】自己調整学習と形成的フィードバック(2023)

【講演・シンポジウム】

大正大学 全学FDセミナー (2024)

コアネット私学教育フォーラム(2024)

日本工学教育協会 (2024)

三浦学苑高等学校(2025)

JACET Kyushu-Okinawa Conference(2025)

【その他】進研アドBetween情報サイト (2025)

「教育と評価」9月号特集 (2025)

九州工学教育協会教育賞受賞(2026)



本日の目標



目標

- 自己調整学習および形成的フィードバックの理論と意義について説明できる
- 「支援し、伴走する」教職員の関わり方について説明できる
- 所属大学の状況をふまえ、自己調整学習を活かした企画を提案できる

本日の内容

- 1 アイスブレイク
- 2 留年・退学防止の取組み内容と成果
- 3 スタートダッシュオリエンテーション 取組みのフレーム
- 4 自己調整学習と形成的フィードバック技法のミニ講義
- 5 ワーク 1
- 6 ワーク 2

本日の内容

- 1 アイスブレイク
- 2 留年・退学防止の取組み内容と成果**
- 3 スタートダッシュオリエンテーション 取組みのフレーム
- 4 自己調整学習と形成的フィードバック技法のミニ講義
- 5 ワーク 1
- 6 ワーク 2

福岡工業大学における留年・退学防止対策の取り組み

取組体制

2021年度～2025年度
学生ケア施策の確立、後期オリエンテーション実施、質の強化

第1弾(4月): 履修不備者(必修未登録、基準単位不足、履修超過)
留年1年生オリエンテーション

第2弾(5月): 3週終了時点多欠席学生のご父母へ電話
※新1年多欠席者は別途オリエンテーション実施

第3弾(6月): 6週終了時点多欠席学生 面談

第4弾(7月): 10週終了時点での直近3週間多欠席学生 面談

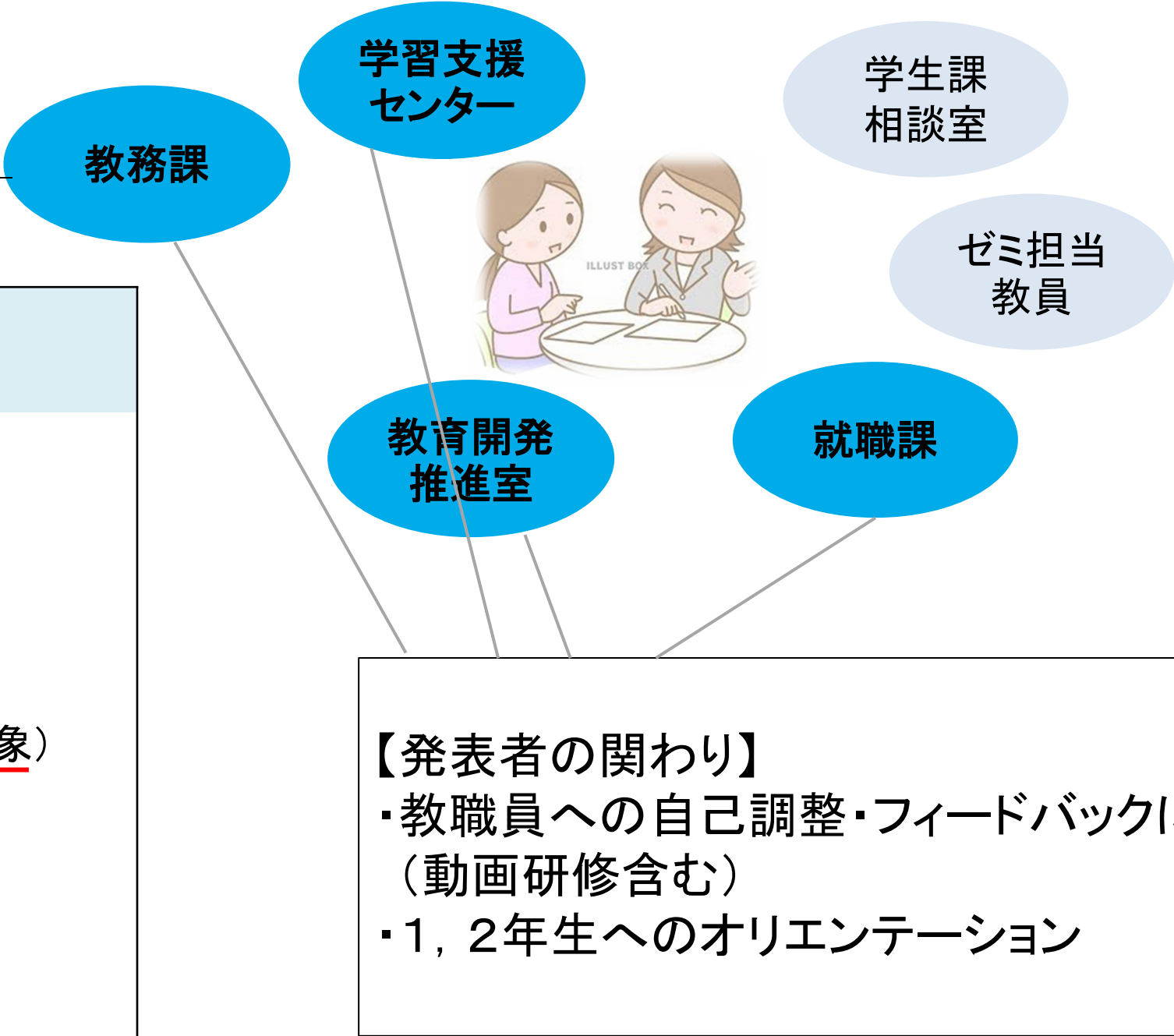
第5弾(9月): 後期スタートダッシュオリエンテーション(基準単位不足者対象)

第6弾～第9弾(前期と同様のケア)

各弾の取組実績は毎月教務委員会にて報告

ケアの進捗リストを各弾、学科(教員)へ共有

本講座でのワーク1に相当する部分



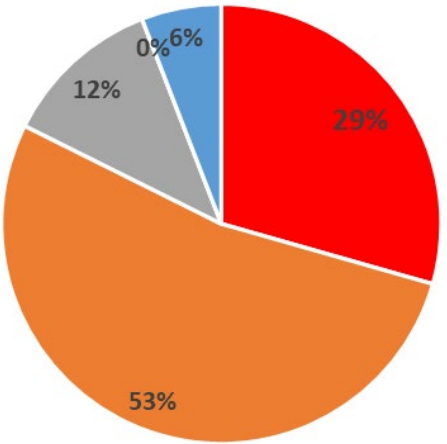
取組の成果

進級率

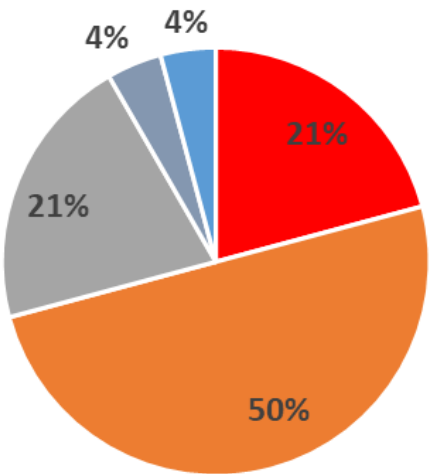
年度別 進級率比較				
	2022	2023	2024	2025
オリエンテーション参加者	78%	64%	67%	67%
オリエンテーション非参加者	64%	43%	63%	55%

意識変容

Q: 学習への向き合い方が変わったか

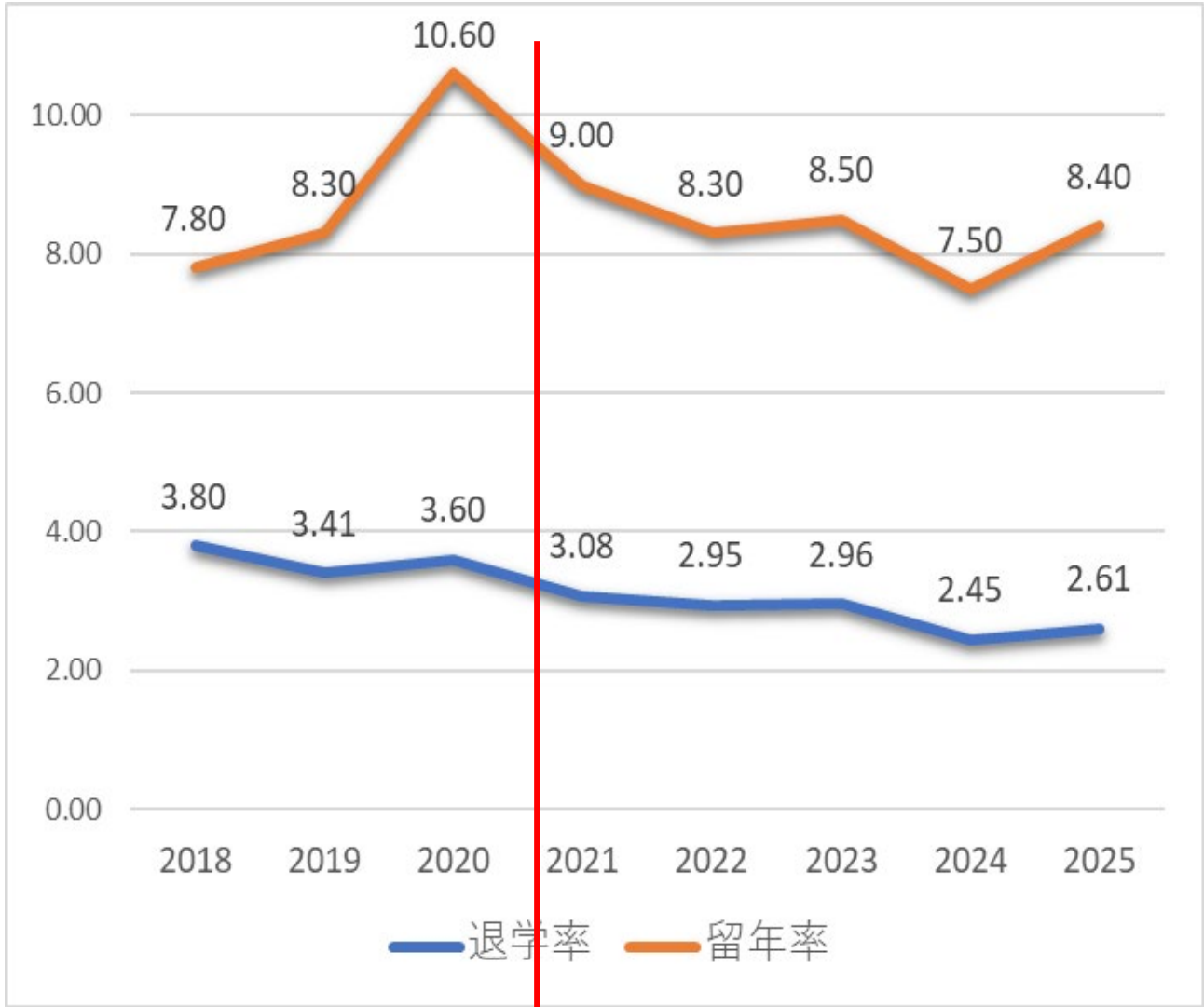


Q: 意欲が上がったか



■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ 思わない ■ 全く思わない

退学・留年率 経年変化

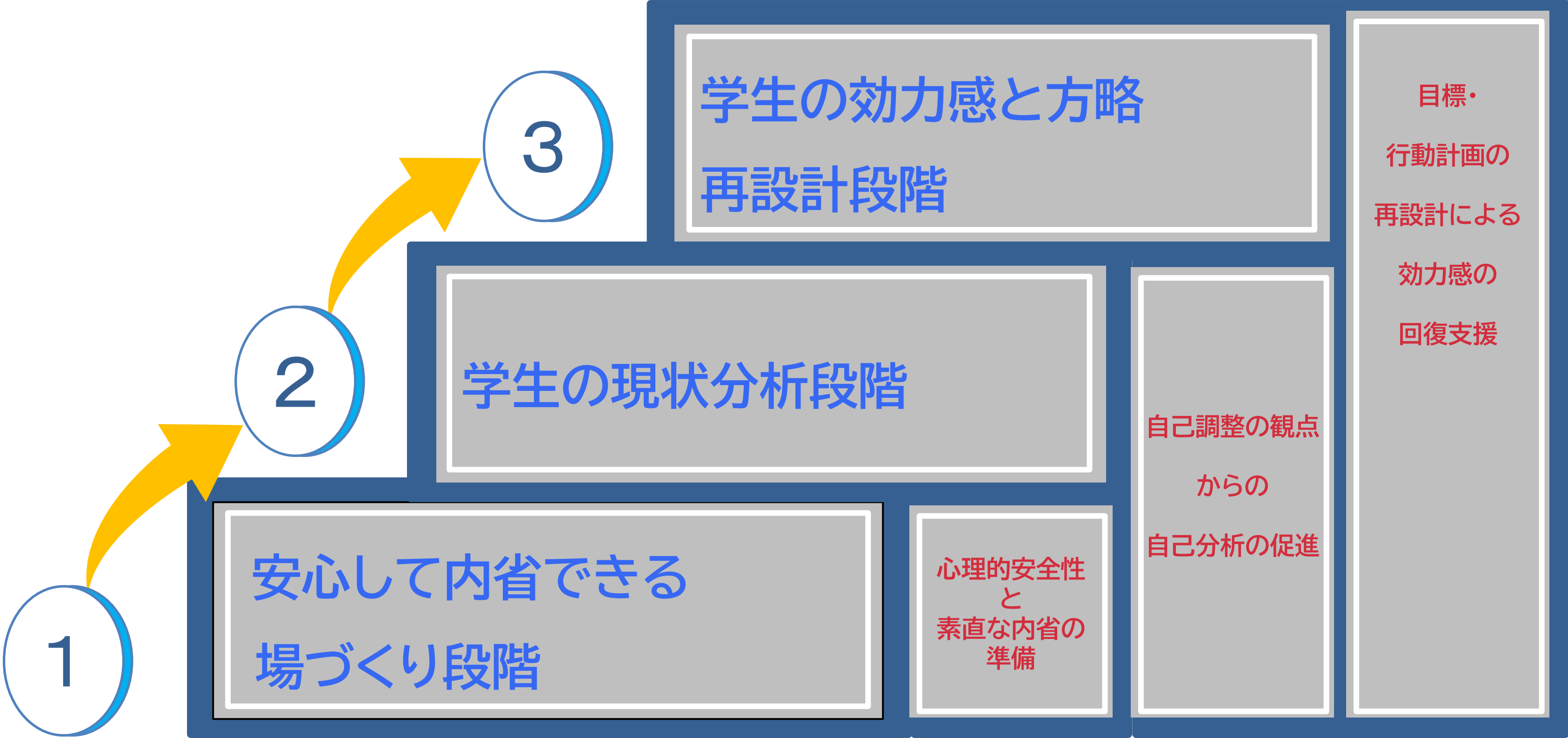


→ スタートダッシュオリエンテーション開始

本日の内容

- 1 アイスブレイク
- 2 取組み内容と成果
- 3 スタートダッシュオリエンテーション 取組みのフレーム**
- 4 自己調整学習と形成的フィードバック技法のミニ講義
- 5 ワーク 1
- 6 ワーク 2

留年防止支援の3段階モデル



留年防止支援の3段階モデル

段階	学生の状態	介入のねらい	スタンス・言葉・活動
1. 安心して内省できる 場づくり	防衛的 恥ずかしい 怒られると思っている しゅしゅ	心理的安全性の確保 素直な省察の準備	一緒に解決策を見つける場 マインドセットを変える場 「来てくれてうれしいです」
2. 現状分析	原因が曖昧 やる気が出ない 自己効力・自信の低下	反省ではなくマインドチェンジ 調整ポイントを知る 自己調整を知る	行動、生活、気持ちの確認 「同じような経験は多くの人にあります」 「この経験を良いガクチカにしましょう」 自己調整の説明
3. 効力感と方略再設計	何をすればよいかわからない 頑張れるか不安 無理なのは・・・	効力感の取り戻し 「これならできる」計画と習慣の 設計 半年後の自分への期待 支援資源を知る	ピグマリオン効果 小さく始められる目標・計画の設計 「気合いややる気によらない方法を一緒に 考えましょう」

本日の内容

- 1 アイスブレイク
- 2 取組み内容と成果
- 3 スタートダッシュオリエンテーション 取組みのフレーム
- 4 自己調整学習と形成的フィードバック技法のミニ講義**
- 5 ワーク 1
- 6 ワーク 2



自己調整学習とは

学習者が自分の学習プロセスに関して、「メタ認知」「動機づけ」「行動」の側面において能動的に関わる学習のこと

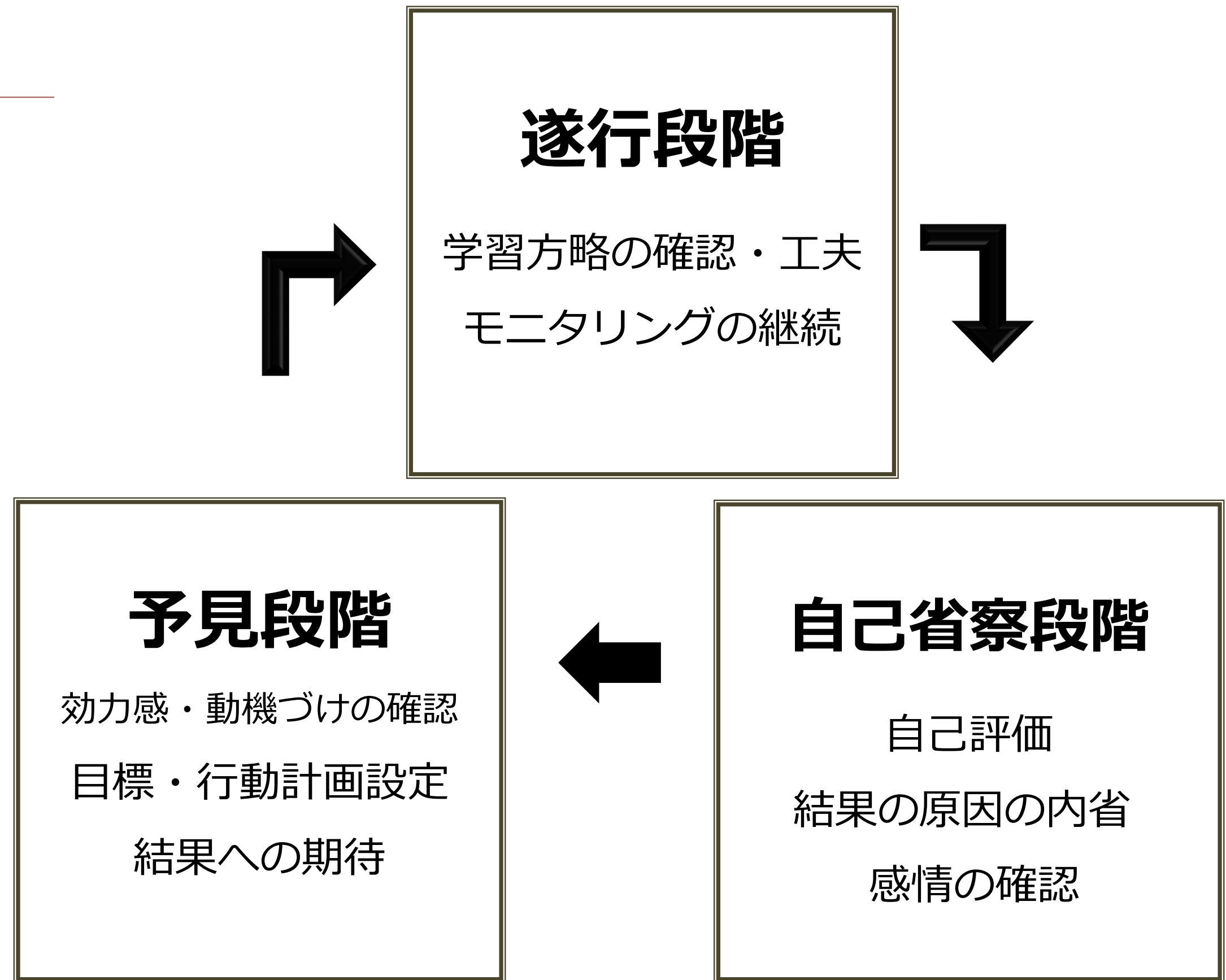
(Zimmerman, 1989)

学習者が「自己調整学習の状態にある」のは…

自己効力感を持ち、**目標**を設定し、それを達成するための**具体的な方略**を用いて学習をしている場合

自己調整学習の3要素

自己調整学習サイクル



自己調整の段階とプロセス (Zimmerman, 2012)

形成的フィードバックとは

目標までの隔たり(gap)を埋めるために学習者の学習が向上するよう、**思考や行動を修正**することを意図して伝えられる情報

(Shute, 2008)



隔たりを埋めるために利用されなければ、フィードバックとは呼べない
(Ramaprasad 1983, Sadler 1989)

形成的フィードバックの主な視点

学習者の目標はなにか

Where the learner is going

目標に対して現状はどうなのか

Where the learner is right now

どのように目標を達成するのか

How to get there



2 形成的フィードバックとは

指導・注意喚起

形成的フィードバック

もっと勉強しなさい

授業のどこらへんから、難しくなった？

計画を立てなさい

今週、いつなら15分時間を取れそう？

学習センターに行きなさい

一人で行きにくいなら、誰かと一緒に行く形はありそう？

💡 「言い方」ではなく「関わり方」が異なる

本日の内容

- 1 アイスブレイク
- 2 取組み内容と成果
- 3 スタートダッシュオリエンテーション 取組みのフレーム
- 4 自己調整学習と形成的フィードバック技法のミニ講義
- 5 ワーク 1**
- 6 ワーク 2

オリエンテーション体験ワーク

「中退防止オリエンテーション」を模擬体験していただきます。
グループワークをしながら進めます。



おわりに



留年・退学防止は「制度説明」だけでは動かない

対象者は「やる気がない」のではなく自己調整が未起動の場合も

形成的フィードバックは、学生が学びを再設計する情報

安心して内省できる場づくりが先、目標設定はその後に

ご清聴

ありがとうございました

